

1. 主催・運営する団体

本大会の主催・運営は大阪北港ヨットクラブ (OHYC) とする。

2. 適用規則

2. 1 セーリング競技規則 2021-2024 (RRS) に定義された規則及び「セーリング装備規則 2021-2024 (ERS)」を適用する。
 2. 2 外洋特別規定 (OSR) 2022-2023 「付則 B インショアレース用特別規定」を適用する。

3. 広告

参加艇は、主催団体により提供される広告を表示するよう要求されることがある。

4. 参加資格・条件

4. 1 本大会の開催主旨である、当レースの興隆と参加艇間での親睦の促進等に賛同、寄与いただける艇。
 4. 2 全長17フィート以上のモノハルキャビン付きクルーザーヨットで、日本小型船舶検査機構の有効な船舶検査証を有し、本大会期間中(回航中、事前事後の係留期間を含む)の有効なヨット保険(賠償責任保険、搭乗者障害保険、遭難捜索費用保険)に加入している艇。
 4. 3 完記された申込書を提出し、且つ、正しく参加料を納付した艇。
 4. 4 本大会のレース委員会が決定したTCFを承認する艇。
 4. 5 同一チームによる、艇の変更、複数艇での参加については、事前にレース委員会の了解を得るものとする。
 4. 6 艇のオーナー又は申込代表者がOHYC正会員である艇は、年間1回以上本大会の運営を支援するものとする。
 4. 7 COVID-19への感染対策を遵守・承諾する艇

5. 参加料及び申込手続

5. 1 各大会への参加料は次のとおりとする。但し、1大会毎の費用とする。

艇登録料	オーナー又は申込代表者がOHYCの 正会員である艇	4,000円
	上記以外の艇	5,000円
乗員登録料	OHYCの会員	1,000円
パーティー費を含む	上記以外	1,500円

但し、パーティ(食事会)を開催しない時は乗員登録料を500円引きとする。

5. 2 申込先は、OHYCレース委員会宛とする。
 5. 3 参加申込方法は、所定の参加申込書に必要事項を全て記入し、大会当日に参加費を添付して、提出する。
 5. 4 申込締切時刻は、各大会当日の艇長会議終了時までとする。但し、現金での参加料の納付確認をもって受付確定とする。
 5. 5 なお、事前の銀行振込による参加料納付ならびにメール添付による参加申込書の送付をもって受付確定とし、出艇申告を免除する。当日のレース海面にて参加確認を行う。申し込み期限はレース前日18:00とする。
 但し、参加申込書の記載内容に変更が生じた場合には出艇申告にて変更内容の申請を行う事。

申し込み先

E-mail ohyc_race@yahoo.co.jp レース委員長 田淵秀博

参加費振込口座

銀行名 三井住友銀行 港支店
 口座種別・番号 普通口座 No. 1583712
 口座名義 特定非営利活動法人大阪北港ヨットクラブ
 クラブレース委員会
 注意事項 ★振込時には振込人名の前に「艇名」を記載のこと。
 振込費用は申込者でご負担ください。

5. 6 大会当日の艇長会議が終了した後は参加料を返却しない。

6. 提出書類

6. 1 各大会の参加資格に必要な書類は、本公示4の各項に記載のとおり。

6. 2 4. 2に記載の書類を事前に提出する必要はないが、大会参加中は、艇に保管しなければならない。

7. クラス

成績上のクラス分けは行わない。

8. 日程、レース数

8. 1 各大会の開催日は次のとおりとし、予備日は設けない。

第1回	2022年 3月27日(日)	
第2回	同 4月10日(日)	
第3回	同 5月15日(日)	
第4回	同 6月26日(日)	
第5回	同 7月10日(日)	天神祭奉納ヨットレース
第6回	同 8月21日(日)	
第7回	同 9月11日(日)	
第8回	同 10月16日(日)	
第9回	同 11月13日(日)	スーパージョイントカップ (KYC 主催)
表彰式	同 12月10日(土)	Xmas パーティー (別途案内します)

8. 2 各開催日における時間割は次のとおりとする。(あくまでも目安のため、最終は帆走指示書にて確認ください)

08:30~08:45 受付・出艇申告

08:45~ 艇長会議

10:25 予告信号(第1レース) 各レースは1時間~1時間半を目途とする

第1レース終了後、随時 予告信号(第2レース) 12:55以降は予告信号を発しない

14:30(開始予定) 食事会(メルボルンハウス) 約1時間半とし、遅くとも16:30には終了する
食事会の担当チームは別途案内する。

8. 3 各大会において、最大2レースを予定する。但し、レース数についてはレース委員長の判断によるとする。

9. 帆走指示書等の配布

帆走指示書は各レースの一週間前までにOHYCのWEBサイトに公表するので、参加各艇はダウンロードし持参すること。

10. レースエリア、レースコース

10. 1 各レースのエリアは、原則、大阪湾西宮一文字防波堤沖とする。

10. 2 レースコースは、各レースにおける帆走指示書に記載する。

11. 順位および時間修正システム

11. 1 各艇の所要時間にT.C.Fを乗じた修正時間(秒単位)により順位を決定する。

$$(\text{修正時間(秒)}) = \text{T.C.F} \times \text{所要時間(秒)}$$

11. 2 各艇間で同一修正時間となった場合は、T.C.F.値の低い艇を上位とする。

11. 3 レース委員会は参加各艇のT.C.F.を決定する。

12. 安全規定・個人用浮揚用具(ライフジャケット)

12. 1 レース予定海域で使用できる1台以上の携帯電話を携帯しなければならない。申込時に届出のこと。

12. 2 艇には、「付則B インシヨアレース用特別規定」5.01.1に規定された個人用浮揚用具を装備すること。

12. 3 J S A F非登録艇の場合は、前項の機能を備えた「小型船舶安全規則に規定する小型船舶用救命胴衣(認証済・

桜マーク付) でなければならない。

- 1 2. 4 個人用浮揚用具（ライフジャケット）は、レースのため陸上・桟橋から離れる出港時から、帰港し陸上・桟橋に係留が完了するまで間、常に着用しなければならない。

1 3. 無線の使用[NP]

- 1 3. 1 出艇申告時にレース委員会が配布する GPS 端末（スマホ）を艇に搭載することを求める場合がある。
- 1 3. 2 レース委員会は VHF74 チャンネルにより参加艇にレースの案内、スタート、リコール等のアナウンスを行う場合があるので、無線機の艇への搭載を強く薦める。
- 但し、チャンネルを変更する場合もある。変更する場合は帆走指示書に記載する。
- 1 3. 3 レース中の携帯電話等による SNS 等への発信等は許される。従って、これらの情報は抗議・救済の根拠とはならない。

1 4. 得点

- 1 4. 1 本レガッタでは、レースポイントの付与と共に、ボーナスポイントを付与することがある。ただし、1 つの艇に同一のレースにおいて、両ポイントが合わせて付与されることはない。
- 1 4. 2 レースポイントは RRS に基づくレース成績への得点とし、詳細は帆走指示書に記載する。
- 1 4. 3 ボーナスポイントは、レース成績以外の得点として、レース委員長の判断による付与することができる。

1 5. 賞及び表彰

- 1 5. 1 本大会は年間で獲得するポイントを争うものとする。従って、各大会では成績の発表のみ行い、表彰は行わない。
- 1 5. 2 表彰する範囲は、年間を通じて開催されたレース数の 1/2 以上に参加した艇とする。
- 従って、年間を通じてボーナスポイントしか得ていない艇は、年間成績上の表彰対象とはならない。
- 1 5. 3 各艇の年間ポイントについては、次の条件に従って、最も悪い得点を除外することができる。
- 尚、ボーナスポイントについては、この項に基づく除外の対象とはしない。
- ① レガッタが 6 レース以下しか成立しなかった場合は、除外は行わない。
- ② レガッタが 7 レース以上 1 2 レース以下で成立した場合は、1 レースの除外を行う。
- ③ レガッタが 1 3 レース以上成立した場合は、2 レースの除外を行う。
- 1 5. 3 表彰は、OHYC が別途開催する Xmas パーティの席上で行うものとする。（詳細は別途案内する。）

1 6. 責任の所在

- 1 6. 1 本大会の競技者は自分自身の責任で参加するものとする。RRS 4 参照のこと。
- 1 6. 2 主催団体は、各開催日の前後、期間中に生じた物理的損傷、又は身体傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

1 7. 著作権

- 1 7. 1 本大会におけるメディア規定を定める。
- 1 7. 2 主催団体は、参加艇の一部または全部に対して、スマートフォンその他の機器による航跡追跡及びそのデータ取得等のための機器の搭載を要請する場合があります。要請を受けた参加艇はこれを拒むことができないものとする。
- 又、航跡追跡のデータにかかる所有権、著作権、その他一切の権利は、すべて主催団体に帰属するものとし、レース参加艇は、その利用について一切の異議を述べない。機器類は主催団体が準備する。
- 1 7. 3 主催団体はレース準備中ならびにレース中に、無人ヘリコプターその他の機器による映像の撮影を行うことがあり、参加艇はこれを承諾する。また、撮影された映像の権利はすべて主催団体に帰属するものとし、参加艇は、肖像権その他の権利を行使せず、また、当該映像の複製、上映、その他の利用について一切異議を述べないものとする。

1 8. COVID-19 への感染対策

- 1 8. 1 日本国内では、現在も感染の拡大を封じ込めたとはいえない状況が続いています。
- 主催団体としても、本大会の安全な開催を維持する為に、JSAF が公表しているガイドを基に運営を行いますので、参加各艇におかれては次の点を遵守、承諾ください。

- 18.2 遵守依頼事項 ①参加各艇で、参加者への体調管理、感染防止の対策を徹底してください。
②万一、参加者に感染や濃厚接触者が出た場合には、速やかにレース委員会に報告下さい。
③レース後等に、密な環境による会食等を避けてください。
- 18.3 大会の運営 主催団体は、クラブ内外の状況等により、本大会の開催、延期、中止の判断をします。

***** その他追加情報 *****

A. 大会事務局（2021年）

大会の事務局およびレース本部は、大阪北港マリーナ内のメルボルンハウスに置く。

〒554-0052 大阪市此花区常吉2丁目13番18号
大阪北港ヨットクラブ レース委員会
委員長 田淵秀博 E-mail ohyc_race@yahoo.co.jp
委員 宇都宮則夫

B. 大会 WEB サイト 大阪北港ヨットクラブ ホームページ内に開設する。

C. 参加艇の係留

参加艇の大阪北港マリーナへの係留については、別途指示します。なお北港マリーナ内、及び周辺の水深が浅くなっている為、潮汐にはご注意ください。35フィートを超える艇では、低潮時には入港、係留に差支えが起きる場合もあります。特に入港出港に際しては、マリーナ西側の開口部は避けて、南側（舞洲側）開口部を利用ください。

D. 外洋特別規定（OSR）2022-2023「付則B インショアレース用特別規定」

- パートB 携行品 個人用浮揚用具の条件は、
- a) 笛が装備されている。
 - c) 艇名か着用者の名前が明記されている。
 - d) 膨張式の場合、定期的に空気保持のチェックがなされ、適用クラス規則または帆走指示書で指定されない限り個人用浮揚用具は150ニュートンの浮力を有し、人の顔を水面上約45度以上向きで保持できなければならない。

E. 練習会の実施

本レース委員会では、参加各艇の安全確保、操船技術の向上を目的として、次のとおり練習会を開催します

- 1 開催日は、①：年間ポイントレース当日と②：①以外の日とします
- 2 練習項目 ①スタート練習 ②下マーク回航
- 3 練習要領

年間ポイントレース当日

- ①スタート練習 ・ 予告信号の30分前から同15分前までの間に2回から3回の模擬スタートを行う
- ②下マーク回航 ・ 実施しない

年間ポイントレース以外の日

- ①スタート練習 ・ 12:00から12:20までの間に、4回から5回の模擬スタートを行う
- ②下マーク回航 ・ 12:30から13:00までの間に、スタート練習のアウトマークを下マークと見立てて、各艇自由に回航を行う

参加は自由とし、年間ポイントには何ら影響を与えない

詳細な指示書は、別途、HPにて公表します

改訂履歴

Ver2.00 2022.3.16

- ・艇登録料の料金変更
- ・スーパージョイントカップの主催団体変更（誤記修正）

以上